

## 人材育成の具体的ニーズの例（議論用）

## 1. IT 人材の育成

- 1-1 金融機関の情報システム部門で、レガシーなプログラミング言語 COBOL で仕事をしてきた者が、インターネット時代にふさわしい Java でのプログラミング能力を高めて、活躍の場を拡げたい。
- 1-2 電気通信事業者で固定電話回線ネットワークの構築に携わってきた者が、セキュリティに関する知識・能力を高めて、需要が多い IT ユーザー企業の情報システム部門でのセキュリティ専門家に転身したい。
- 1-3 IT 企業でプログラマーとして活躍してきた者が、自動車メーカーに転職して自動運転技術を開発する AI エンジニアとして働くことを目指し、専門的にディープラーニング理論や技術を習得したい。
- 1-4 IT 企業でシステムエンジニアとして働いてきた者が、IT ユーザー企業に転職し、自分の強みである IT の専門スキルを、新たなビジネスソリューションの企画立案に活かしたい。
- 1-5 理系の大学2年生で、将来的には機械メーカーで AI エンジニアとして働きたいと思っている者が、ディープラーニングやプログラミング言語（Python 等）を専門的に学んでいきたい。

## 2. 非 IT 人材の育成

## ＜経営者層＞

- 2-1 サービス産業の役員が、AI、IoT、ビッグデータ等の新技術を活用した新たなビジネスへの投資に関する経営判断を適切に行えるように、最先端の技術に関する基礎的な知識を習得したい。

## ＜ビジネスソリューションを考える層＞

- 2-2 ネット販売業者の経営企画部門で働いている者が、ソーシャルメディアや Web サイトのアクセスログなどから得られるビッグデータを活用する販売戦略を立案するため、高度な統計・データ分析の手法を習得したい。

<IT をビジネスの現場で駆使する層>

- 2-3 アパレルショップの店長として長年の経験と勘で商品の仕入れや店舗設計を行っていたが、ITにより取得した来店者数や店内の滞在動態、顧客属性といったデータに基づき売り上げ向上やコスト削減につなげるべく、データ分析の手法やソフトウェアの活用ノウハウを習得したい。
- 2-4 長年ものづくりの現場で生産管理の仕事をしてきた者が、工場内自動化に対応するため、スマートデバイスによる制御技術を習得したい。
- 2-5 一般企業の正社員として働いた後、結婚・出産退職後パートタイマーとして事務補助作業を担当してきた者が、再び正社員としてキャリアアップを図るため、必要なビジネススキルやITリテラシーを習得したい。
- 2-6 文系の大学1年生で、一般企業の総合職として働くことを考えている者が、これからは文系職種でもAIやビッグデータを活用する力が必須であるため、それらの基礎的なリテラシーを身に付けたい。